

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	関野志穂
	全体計画						経費区分		-		内線	3354
事務事業名	10628 精神保健事業											
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課											
施 策	01010100 健康づくりの充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費										
	事業	030000 精神保健事業										
事業目的						事業概要・効果						
自殺予防、精神保健の理解のための普及啓発活動を行う。また気軽に相談できる相談窓口を充実させる。地域関係者を含めた庁内関係機関と連携し、自殺予防対策を進めるため、ネットワークの構築を行う。						事業概要 心の健康づくりに対する意識を高めるため、健康づくり講座等の普及啓発活動の事業を実施する。 自殺予防対策の取組みとして、相談事業のほかに、地域関係者を含めた自殺予防対策連絡会議を実施する。 効果 ・心の健康を保ち、ストレスと上手に付き合う人が増える。 ・自殺者数の減少						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
若年層の自殺予防対策や壮年期の働き盛りの層を対象にした自殺予防対策を実施する。昨年に引き続きこころの健康づくり講座の実施や、企業と連携して講座を開催する。	引き続き、こころの健康づくり講座、うつ病の方の家族教室、企業と連携して働きざかりのメンタルヘルス講座を実施する。 庁内関係部署と連携し、新たに引きこもりサポーター養成講座の開催する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	県統計による年間自殺者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	8	6	4	2	0	
	実績						
指標選定の理由	うつ病や自殺、引きこもり等こころの健康づくりに関する正しい知識を普及することにより、自殺予防を推進した結果の指標となるため。						
最終年度目標の根拠	可能な限り自殺でなくなる方をなくす必要があるため。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		413	555
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	192	211
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		221	344
人員数(人)	正規職員	2.4	1.9
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,299.2	13,695.2
	嘱託職員	811.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	18,110.7	13,695.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		18,523.7	14,250.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	180	こころの健康づくり講座、ゲートキーパー養成講座、働きざかりのメンタルヘルス講座等の講師謝礼
11節 需用費	33	研修会の消耗品他
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	193	長野精神保健福祉協議会、須高精神保健福祉協議会の負担金
その他	7	自殺予防対策研修会普通旅費 郵便料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	294	こころの健康づくり講座、引きこもりサポーター養成講座、働きざかりのメンタルヘルス講座等の講師謝礼、悩み無料ダイヤル専門相談員謝礼
11節 需用費	31	研修会の消耗品他
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	197	長野精神保健福祉協議会、須高精神保健福祉協議会の負担金
その他	33	旅費（こころの健康づくり講座費用弁償、自殺予防対策研修会普通旅費） 郵便料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	自殺対策基本法に基づき、市が取り組むべき事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地道な普及啓発活動や関係機関との連携を強化することが、自殺予防を図ることが期待できる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	意識啓発については、効率性を考えることについてはそぐわない面がある。 開催方法を工夫して、より理解が進む方法は検討する必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各講座の参加者数は減少傾向のため、内容や周知方法等の検討が必要と考える。
引きこもりは自殺に傾きやすい傾向にあり、引きこもりの理解者を増やすことで自殺予防を図ることが期待できる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>引きこもり支援について福祉課と連携していく必要がある。 疾病別の家族会は、ご本人への理解も進み、家族同士のつながりもでき有効な事業と考える。</p>		<p>関係課との連携により、心の健康の理解を広める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント